

第39回 ことう地域チームケア研究会



くすのきセンター

1階 研修室

令和1年7月11日(木)

交 流 会

- 講演を聞いた感想・もっと知りたいこと
- 支援の中で薬剤師さんとのかかわりがあったケースを出し合ってみよう！
- 薬剤師さんにどんなことを相談したいですか？
- 薬や服薬支援に関する疑問 など

❀グループ発表後は、自己紹介タイムです。

薬剤師さんにチームケアに関わってもらって

<良かったこと>

- ・薬の整理ができた。
- ・必要な医療用品の相談もできた。
- ・残薬の相談ができた。
- ・薬の効果は薬剤師が関わっていると利用者も安心できる。
- ・剤形を変更してもらえてよかった。
- ・医師との調整を行ってもらえてよかった。
- ・薬の配達、管理をしてもらえて助かった。
- ・多科にかかっている方は重複する薬が多いが、薬剤師さんに調整していただいて助かっている。
- ・バツカル錠を覚えてもらえて、患者さんにとってよかった。

<日頃思っていること>

- ・薬剤師さんの在宅訪問についてあまりされていないのではないかと。訪問看護師が薬管理をしている方が多い。
- ・薬剤師の在宅訪問について家族が遠慮される場合がある。勧めていくにはどうしたらいいか。費用はいくらかかるのか知りたい。
- ・ジェネリック薬品も増えて、薬名もいろいろあり、分かりにくくなっている。
- ・薬の説明を聞いて不安感が強くなる患者さんもある。安心して服薬してもらえるようにお薬を渡す時の説明時には配慮して行ってもらえるとよいと思う。
- ・一包化してしまうと自分がどれだけ飲んでいるかわからなくなってしまうのだろうか。
- ・介護保険を利用されている方だけでなく障害の方に対しても薬剤師さんのかかわりを。

<要望など>

- ・薬の副作用に関して患者は不安に思っている。薬の説明の時に副作用の頻度を情報提供してもらえると良いと思う。
- ・退院支援の際に薬局に関わっていただけるとありがたい(病院)。
- ・患者さんは、医師には「服薬できている」と伝えていても、実際にはそうでないこともある。薬剤師さんが服薬状況をつかんでいてくれると処方の仕方を替えることができるので、情報をいただけると良い(医師)。薬剤師さんの2番目の目、非常に大事。
- ・痛み止めなどが多科から重複して処方されている場合がある。薬局ではその状況を確認していただけているだろうか。
- ・服薬の必要性を患者さんに伝えてほしい。
- ・薬剤師が地域でできること まだまだ周知されていない。
- ・介護サービス事業所で服薬管理に取り組むにはどうしたらいいのか。
- ・多剤服用の患者さんについて相談に乗ってほしい。

これから

- ・薬手帳は災害時にとても大事。きちんと管理できるようにしていきましょう。
- ・薬局ごとに薬手帳を持っている患者さんには1冊にまとめられるよう働きかけをしていきましょう。
- ・薬剤師さんの支援についての必要性は、担当者会議等でも確認し、薬剤師さんも支援チームに入ってもらえるとよい。
- ・痛み止めと一緒に胃薬が処方されている場合が多いが、胃薬は口腔乾燥につながりやすい。口腔環境の悪化に繋がる可能性もあるので薬剤師さんに相談できるとよい。
- ・かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師をもつように患者さん、利用者さんに働きかけていきましょう。
- ・病院薬剤師も地域の薬剤師とより綿密に連携しながら地域医療に貢献していきたいと思う。
- ・訪問可能薬局リストを活用していきましょう。